

学校だより

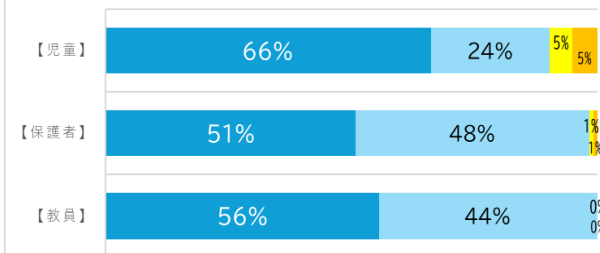
京都市立醍醐小学校
校長 松下 智洋

【前期】教育評価 特別号

「学校教育アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果を報告させていただきます。本年度より、児童・保護者・教職員が学校教育目標の実現を自分事として考えられるよう、アンケート項目を整理いたしました。それぞれの立場で、子どもたちが健全に成長していけるよう、これまでに振り返り、また、今後に生かしていければと思います。

1. 学校は楽しい

■あてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

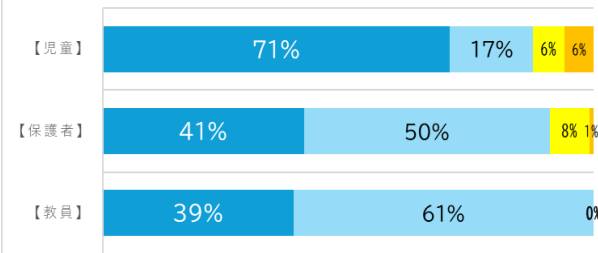


設問	児童	学校は楽しい。
	保護者	ご家庭で、お子さんが楽しく学校に通えるよう働きかけている。
	教員	すべての児童が安心して学校生活を楽しめるよう意識して、教育活動をすすめている。

・保護者、教員ともほぼ全員が、学校を楽しめるよう働きかけています。ですが、1割の児童は残念ながら楽しめていないと感じているようです。何が原因になっているのか、改めて検討していきたいと思います。

2. なりたい自分がある

■あてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

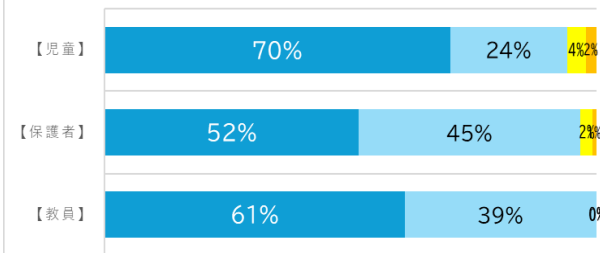


設問	児童	「なりたい自分（将来の夢や目標）」がある。
	保護者	お子さんが、夢や希望をもって将来の生き方や生活を考えられるように、話をしたり行動したりしている。
	教員	児童が、「なりたい自分（将来の夢や目標）」をもてるよう、働きかけたり教育活動を工夫したりしている。

・夢や希望があることは、日々の取り組み方により影響を与えてくれます。7割以上の子どもたちが「なりたい自分」があるという素晴らしい結果になりました。今後も目標意識を大切に持ち続けてほしいと思います。

3. 友達と仲良く過ごしている

■あてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

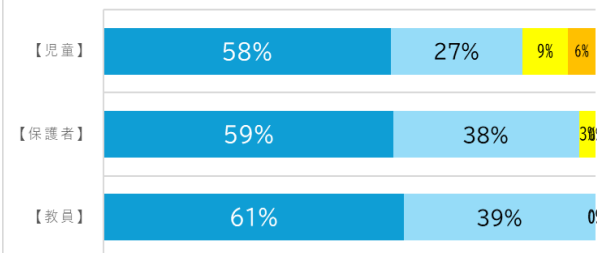


設問	児童	友だちと仲良く過ごしている。
	保護者	お子さんに友だちと仲良く過ごす大切さや心地よさについて働きかけている。
	教員	子どもたちが互いを大切にできるよう、意識的に見守ったり声掛けを行ったりしている。

・保護者や教員が思っている以上に、多くの子どもたちが、学校生活の中で友達と仲良く過ごしていることがわかります。トラブルになることももちろんありますが、仲直りが上手にできている子が多いのだと思います。

4. あいさつができる

■あてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

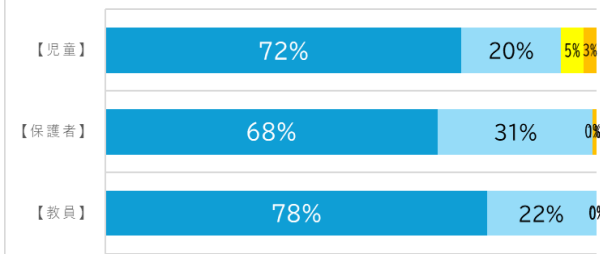


設問	児童	先生や友だち、地域の人に自分からあいさつができる。
	保護者	お子さんが、家庭や地域で場面に応じたあいさつができるように働きかけている。
	教員	すすんで挨拶をするよう指導したり、子どもたちの手本となるようにあいさつをしたりしている。

・子どもたちの15%は、あいさつに自信がないようです。あいさつは人間関係を円滑にする上でも大切であると考えます。まずは、大人が今まで以上に子どもたちの手本として振舞えるようにしていきたいと思います。

5. 感謝や謝罪を伝えられる

■あてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

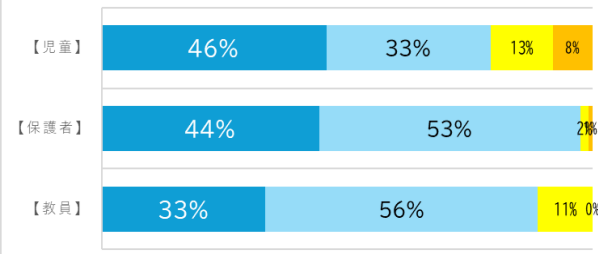


設問	児童	「ありがとう」や「ごめんなさい」が伝えられる。
	保護者	感謝の気持ちや反省の気持ちを素直に伝える大切さについて話している。
	教員	感謝の気持ちや反省の気持ちを素直に伝える大切さについて指導している。

・大人以上に助け合い支え合いを必要とする子どもたちにとって、「ありがとう」や「ごめんなさい」はとても大切なコミュニケーションです。今後も、素直に気持ちを伝えられるよう、支援していきたいと思います。

6. めあてやふりかえりを意識

■あてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

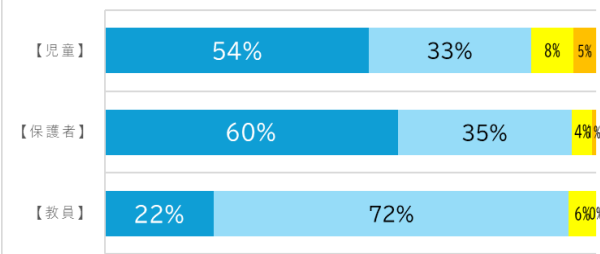


設問	児童	授業では、めあてを意識して学習し、わかったことやわからなかったことを振り返っている。
	保護者	お子さんが、意欲的に学校での学習に取り組めるよう、働きかけている。
	教員	授業では、めあてを明確に示し、児童が学習内容を振り返れる場（ノートや発表など）をもてるようにしている。

・45分の授業時間の中では振り返りの時間をとることが難しいこともありますが、振り返りの仕方を工夫し、子どもたちがその日の学習内容についての理解度を図れるようにめざしていきます。

7. 授業はよくわかる

■あてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

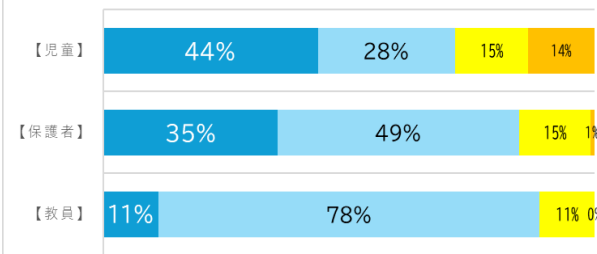


設問	児童	授業で学んだことは、よくわかる。
	保護者	お子さんの学習理解の様子を気にかけている。
	教員	児童が学習に対して粘り強く向き合い、理解を深められるよう指導している。

・教員と児童の結果に開きがあります。授業のねらいまで到達せずに終わってしまっ、授業での満足度に違いが出ているのかもしれませんが。授業の初めにめあてを明確にして、学習に取り組んでいきたいと思います。

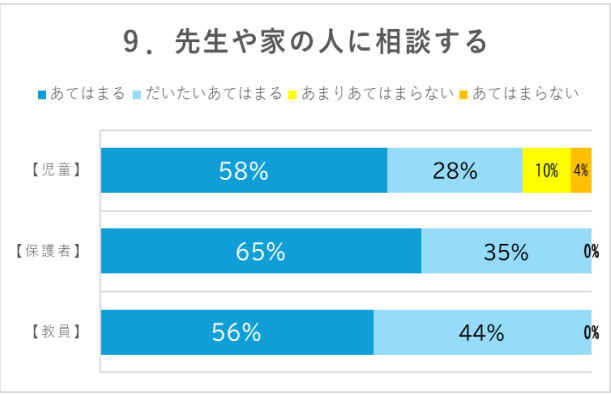
8. 家庭学習に取り組んでいる

■あてはまる ■だいたいあてはまる ■あまりあてはまらない ■あてはまらない

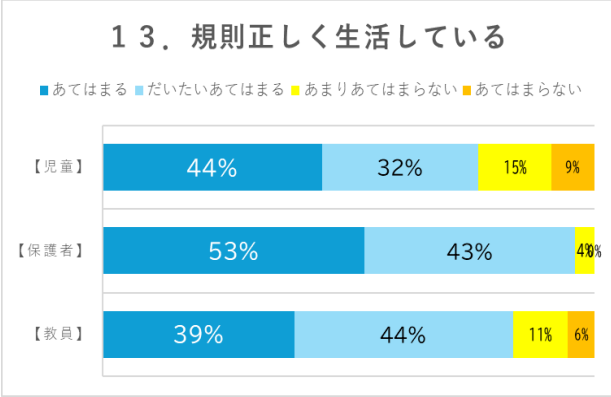


設問	児童	毎日、家庭学習を決まった時間（めど：低学年30分、中学年60分、高学年90分）取り組んでいる。
	保護者	お子さんに家庭学習の習慣が身につくよう働きかけている。
	教員	児童が家庭学習を意欲的に取り組めるように、課題内容を工夫したり、できたことを認めたりするようにしている。

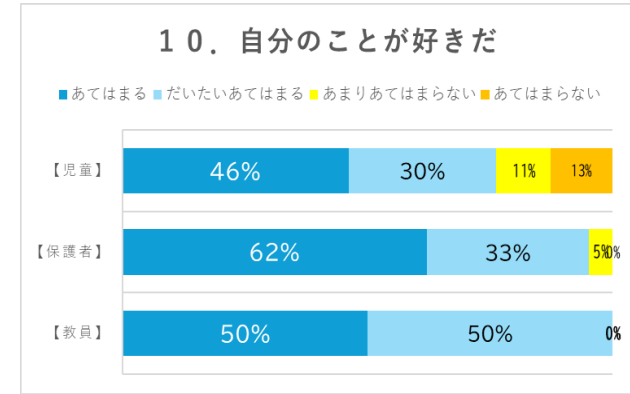
・子どもたちの3割が、家庭学習に決まった時間取り組めていないと感じています。学校も、プリントやドリルだけでなく、自主学習（探究学習）など、子どもたちのためになる家庭学習を検討していきたいと思います。



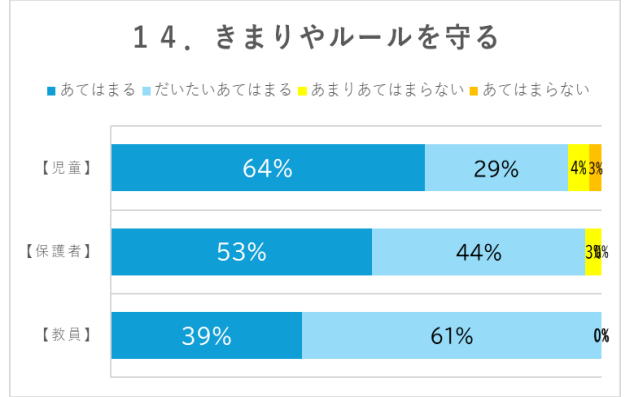
設 問	児童	困ったことや分からないことがあるときは、先生やお家の人に相談している。
	保護者	ご家庭で、お子さんの学校の話を知っている。
	教員	児童から相談があった際には、ていねいに対応するよう心掛けている。
・保護者、教員ともに回答者の全員が「話を聞いている」と答えていますが、児童の14%が、否定的な回答をしています。子どもたちがいつでも気軽に話しかけられるよう今後も丁寧な対応を継続していきます。		



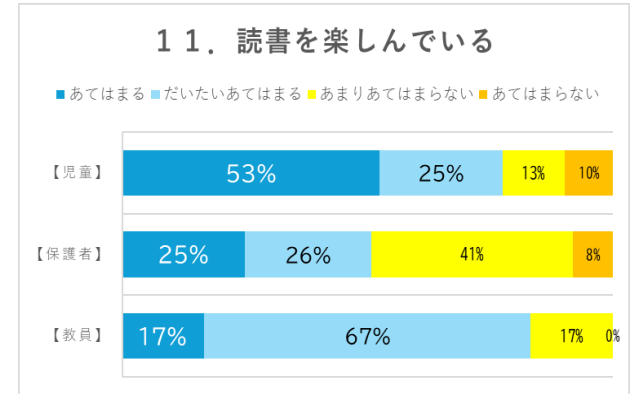
設 問	児童	毎日、早く起きて、早く起きて、朝ごはんをしっかり食べるようにしている。
	保護者	ご家庭で、お子さんが基本的な生活習慣が身につけられるよう働きかけている。
	教員	児童に基本的な生活習慣が身につくよう、声かけをしたり取組をしたりしている。
・96%の保護者の方が、子どもたちの生活習慣形成に向けて働きかけていただいています。児童の24%はまだ生活リズムを整えられていないと回答していますが、今後も継続していくことで改善が見込まれます。		



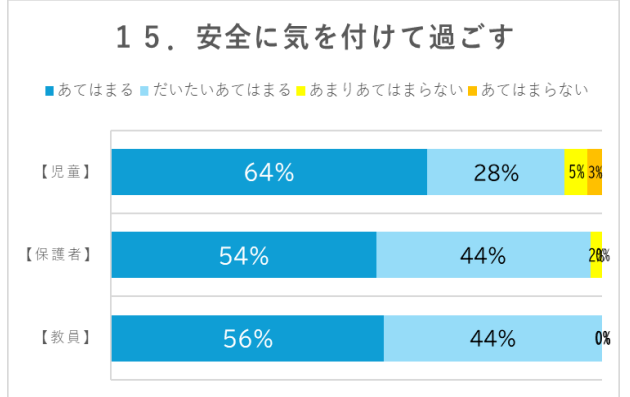
設 問	児童	自分にはよいところがあり、今の自分のことが好きだ。
	保護者	お子さんのよいところやすてきなところを、本人に伝えるようにしている。
	教員	児童のよいところやすてきなところを、本人に伝えるようにしている。
・児童の4人に1人が、「自分にはよいところがない」「自分が好きではない」と感じているようです。今後も、児童の良さががんばりを積極的に見つけて、伝えていきたいと思います。		



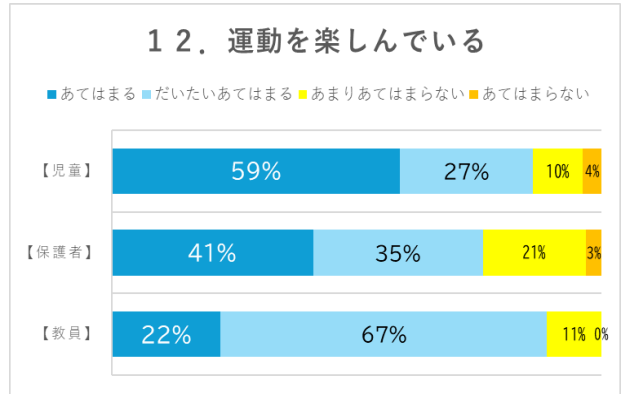
設 問	児童	学校のきまりや交通ルールなどについてしっかり守っている。
	保護者	ご家庭で、きまりやルールを意識して守れるよう働きかけている。
	教員	児童が学校のきまりや交通ルールなどを守るよう、声かけをしたり取組をしたりしている。
・3分の2の児童が、きまりやルールを守っていると回答しています。規範意識の高さは、みんなが学校生活を安心して過ごすためにも重要な要素の一つです。今後も、積極的に働きかけていきます。		



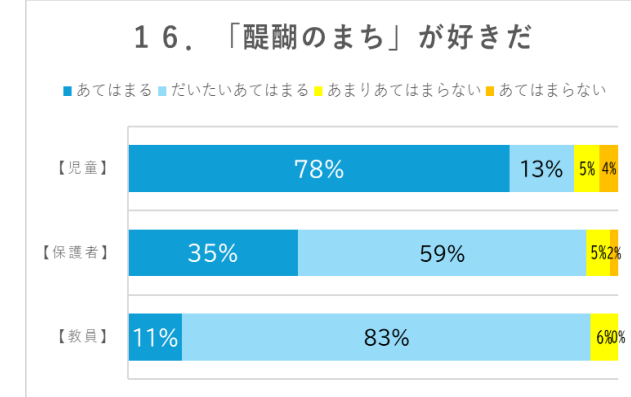
設 問	児童	自分からすすんで読書をし、本を読むことを楽しんでいる。
	保護者	ご家庭で、お子さんが読書をするような環境づくり（場の設定、時間の設定など）を心掛けている。
	教員	読書や図書の活用を意図的に指導し、児童がすすんで読書活動を楽しむよう働きかけている。
・保護者や教員の働きかけ以上に、子どもたちは読書を楽しむことができています。学校図書館だけでなく、地域の図書館も積極的に活用し、読書の幅を広げていきましょう。		



設 問	児童	自分や周りの人が安全に過ごせるように気を付けて生活している。
	保護者	お子さんが、自分やまわりの人の安全を守る意識を高められるよう働きかけている。
	教員	児童が、学校生活を安全に過ごせるように、声かけをしたり指導したりしている。
・肯定的な回答が大半を占めています。8%の児童が、安全への留意が少ないと感じています。数名の危険な行動で、事故やけがにつながります。今後も安全について丁寧に指導を続けていきたいと思っています。		



設 問	児童	自分から進んで運動をし、体を動かすことを楽しんでいる。
	保護者	ご家庭で、お子さんが運動をするような環境づくり（場の設定、時間の設定など）を心掛けている。
	教員	体を動かすことの意義や気持ちよさについて意図的に指導し、児童がすすんで運動を楽しむよう働きかけている。
・読書同様、子どもたちは意欲的に運動に親しんでいることがわかります。2学期以降、気温が下がってくれば運動を楽しむ機会もより多くなるかと思ひます。子どもたちの「好き」をより伸ばしていきたいと思ひます。		



設 問	児童	自分たちの住んでいる「醍醐のまち」が好きだ。
	保護者	自分たちの住んでいる「醍醐のまち」が好きだ。
	教員	児童が「醍醐のまち」を好きになるよう、積極的に働きかけている。
・児童の多くが「醍醐のまち」を肯定的にとらえています。教員も夏休み中に醍醐寺研修を行うなど、醍醐の良さについて改めて感じています。児童すべてが醍醐のまちを好きになれるよう、めざしていきます。		

自由記述欄より

●子どもに響く声掛け、関わりができるよう学校と共に出来たらと思ひます。子どもに寄り添った導きを共によろしくお願ひいたします。●親は子供が独り立ち出来るよう頑張っております。なかなか上記の質問では実を結びませんが、頼れる所は頼れる様に、自分から助けて欲しいと言える様になって欲しいと思ひています。また、醍醐でもその様な環境や意識がもっと増えたらいいと思ひます。●交通安全についてヘルメットをかぶるよう学校でも伝えてくださっているかと思ひますが醍醐小の子たちは実際かぶっている子が少ない。我が家では必ずかぶるようルールを決めています。しかしヘルメットをかぶることによって友達にからかわれてかぶりたくないとなった。なので友達と自転車の時でも我が子は自転車に乗らず走ってついていくことを選択するようになりました。醍醐小のみんながヘルメットをかぶることを当たり前のようになれば我が子がこんな思ひをしなくて済むのになと...残念に思ひます。●友達関係で悩むことが増えました。学校に行きたくないと言うこともあるように思ひます。●引き渡し訓練は休日参観の日に戻してほしい。年度当初に仕事の休みを取る回数が多くて困る。水泳の健康表の提出を忘れてしまい申し訳ないが、高学年で水泳の用意を持たせてる時点で入れる体調と捉えているので、本人への確認をして入れてやってほしい。他校ではそのような対応をしていると聞いている。

ご意見いただき、ありがとうございます。ご意見に関する回答は、校内で十分に検討し、また適宜行っていきたいと思ひます。